

自治会長研修会

市長 浅野健司

4月6日から9日まで、自治会長の皆さんを対象に、「自治会長研修会」を開催しました。

従来は、表彰や講演会を中心とした「自治会長大会」を実施していましたが、初めて自治会長となる方が約9割を占める中、「より実務に沿った研修をしてほしい」との声が多く寄せられていました。そこで、昨年度からそのあり方を見直し、市からの依頼事項や補助金の申請方法、地域防災対策など、自治会運営に直結する内容をわかりやすくお伝えする研修会へと転換しました。



市内には、378の自治会がありますが、本研修会への参加率は約9割と、大変多くの自

治会長の皆さんに出席いただきました。各会場では、メモを取りながら熱心に耳を傾けられる姿が見られ、地域のために自治会長としての職責を果たそうとする高い意識を強く感じました。

また、自治会の負担軽減に向けた取組として、電子回覧板アプリ「結ネット」を紹介しました。これらのアプリの初期費用に対する補助制度もありますので、ぜひ活用をご検討ください。

自治会は、地域のつながりの中心的な役割を担い、そこに暮らす人々にとって身近なよりどころとなる存在であるとともに、市にとりましても、より良い地域づくりを進める重要なパートナーです。自治会長の皆さんが安心して活動に取り組めるよう、引き続き丁寧かつ柔軟に、実践的な支援と負担軽減を進めてまいります。

Pick up ↑

注目の話題、気になる情報をお届けするコーナーです。
今号は、水道の取り組みについてお知らせします。

全国初！イオン交換樹脂による有機フッ素化合物（PFAS）除去

三井水源地では、令和8年度内の運用開始を目指し、新たな浄水施設の整備を進めています。新施設では、PFAS除去性能が高い「イオン交換樹脂」を用いて浄水処理を行います。今回は、このイオン交換樹脂について紹介します。

PFASを除去する樹脂

使用するイオン交換樹脂は、直径1mm未満の小さな球状の樹脂です。PFASが保有するイオンと、樹脂が保有するイオンを入れ替えることで、PFASを除去する性質を持っています。



イオン交換樹脂

長期間にわたり安定した浄水性能

三井水源地で約2年前から行っている実証実験では、浄水処理後の水に含まれるPFOS・PFOA

の濃度は、試験開始から現在まで、定量下限値(1ng/L)以下を維持しており、長期間にわたり極めて安定した浄水性能を発揮することが確認されました。

この確かなデータを、効率的な施設設計に反映させました。今後は、樹脂の最適な交換周期を検討していきます。



工事の進捗

現在、浄水タンクの工場製作とイオン交換樹脂の調達を行っています。現場では、施設を支える柱状改良基礎の工事が進行中です。工事の詳細や進捗は、市ウェブサイトで随時公開していますので、ぜひご確認ください。



詳細 水質改善対策室 ☎ 058-216-8010